

データ公開サイト改善のための web 解析 Web analytics to improvement of data dissemination websites

福田 和代^{1*}, 齋藤 秀亮¹, 北山 智暁¹, 宮城 伸², 船越 留里¹, 仲村 亮², 園田 朗¹

Kazuyo Fukuda^{1*}, Hideaki Saito¹, Tomoaki Kitayama¹, Shin Miyagi², Ruri Funakoshi¹, Makoto Nakamura², Akira Sonoda¹

¹ 独立行政法人海洋研究開発機構, ² 株式会社マリン・ワーク・ジャパン

¹JAMSTEC, ²Marine Works Japan Ltd.

海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 地球情報研究センター (DrC) では、JAMSTEC の観測航海で得られたデータ・サンプルの情報をそれぞれの特性に合わせた複数のデータ公開サイトを通じてインターネットに公開している¹⁾。ユーザにとってより利便性の高いデータ公開サイトに改善するためには、ユーザの行動やニーズを理解することが重要である。それらを理解するため、DrC ではデータ公開サイトに関するサーバログやアプリケーションログの活用を進めてきた。

DrC が運用するデータ公開サイトのサーバログは定常的に収集・前処理が行われている。前処理が施されたデータは web 解析ツール AWStats²⁾ に入力され、ページビュー、訪問数などの出力データが日々モニターされる。JAMSTEC ネットワーク外からのアクセスについては、AWStats で算出された月統計値を用いて、各サイトの月次レポートが作成される。ページビューや検索フレーズの特徴的な変化がみられる場合には、検索エンジンキーワードのトレンドや参照元ページの内容を付属情報としてレポートに記載している。さらに、ドメイン名あるいは IP アドレスから参照される組織名にもとづいて訪問者の特徴も調査されている。ドメイン毎のページビューを用いて、サイト間における訪問者の業種の特徴が抽出できるようになってきた。この情報は、ヒアリング調査やユーザビリティ調査における対象ユーザ層の検討にも用いられる。

一部のデータ公開サイトについては、設計段階からアプリケーションログの活用を考慮した上で、システムを構築した。その結果、データ検索やデータダウンロードに関するアプリケーションログが蓄積されるようになった。検索ログからはデータやサンプルの検索に用いたメタデータ、キーワード、検索結果件数を調べることができる。ダウンロードログはダウンロードされたデータ・サンプルの種類やその組み合わせのパターン発見に用いられる。さらに、ユーザ登録ページやアンケートページでユーザが入力した属性情報・コメントなどのユーザ情報とアプリケーションログを融合することによって、より具体的なユーザニーズの把握が可能となる。

本発表では、解析事例を紹介するとともに今後の課題について報告する。

参考 URL

1) <http://www.jamstec.go.jp/drc/j/datasites/>

2) <http://awstats.sourceforge.net/>

キーワード: データ公開, web 解析, ユーザ行動, ユーザニーズ, サーバログ, アプリケーションログ

Keywords: Data dissemination, web analytics, user's behaviors, user's needs, web server log, application log